

(様式3)

外国人児童生徒等教育アドバイザー派遣結果報告書

都道府県名	東京都	市町村名	足立区	大学名	
派遣日	令和 4年 1月13日(木曜日) 13:00~15:30 ※派遣当日の日程を詳細に記入してください。 ※派遣当日の次第、研修実施要項・日程表等、日程の詳細が分かる資料を添付してください。				
実施方法	※いずれかに○をつけてください。 派遣 / <u>遠隔</u>				
派遣場所	足立区立保木間小学校 会議室 (あだち日本語学習ルーム設置校)				
アドバイザー氏名	築樋 博子 様				
相談者	あだち日本語学習ルーム 日本語指導講師(8名)				
相談内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・「子どもの日本語教育の理論と方法」及び「日本語指導の計画と実施」の内容において、日本語指導に関する指導法、指導の計画等に関する講演をいただきたい。</li><li>・教科指導における国語と、日本語指導における日本語との文法の違いを、どのように接続していけばいいか。</li><li>・時間をかけて指導をしても、なかなかひらがなとカタカナの違いを理解できない生徒に対して、どのようなアプローチの手段があるか。</li><li>・区内の日本語指導加配教員同士の間で、本日の研修内容を共有させていただきたい。</li></ul>				
派遣者からの指導助言内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・生徒の理解の段階を適切に評価するための方法・工夫</li><li>・生徒の成育歴を正しく理解する工夫</li><li>・生徒の実態に応じた、指導計画の立案・修正</li><li>・生徒の理解の段階に応じた指導の工夫</li><li>・所属する学級において、教科等学習の際に生かせる指導の工夫</li><li>・生徒の指導に適した教材について</li><li>・生徒の生活に基づいた日本語指導について</li><li>・教科指導における国語と、日本語指導における日本語との文法の違いについて、段階的に取り扱うこと。</li><li>・生活の中で必要な場면을基に指導をすることで、生徒の必要感に対応した指導を行うことができ、内容の理解につながる。</li><li>・紙面でお配りした資料については、区内で共有いただいて構わない。</li></ul>				
相談後の方針の変化、今後の取組方針等	<ul style="list-style-type: none"><li>・『外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントDLA』に示されたJSL評価参照枠の6段階のステージに対応した資料(文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒を対象とした指導の在り方に関する検討会議」作成)を、今後生徒の実態を把握する際に活用していく。</li><li>・非漢字の生徒に漢字を指導する際に、提示いただいた資料を基に工夫した指導を実施していく。</li><li>・日本語指導プログラム内の各プログラムを生徒に合わせて活用し、レベルアップにつなげる。</li></ul>				

(様式3)

1枚にまとめる必要はありませんので詳細に記載願います。

なお、本報告書の内容は、文部科学省ホームページで公開いたします。